

平成 2 2 年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成 2 1 年度対象)

平成 2 2 年 1 1 月

人吉市教育委員会

目 次

〈 は じ め に 〉	1
人吉市教育委員会委員名簿（平成22年11月30日現在）	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	
1 教育委員会の活動及び運営状況	2
(1) 教育委員会の概要	2
教育委員会の目的	2
人吉市教育委員会委員（平成21年度の教育委員）	2
(2) 教育委員会の主な活動内容	2
教育委員会の活動状況	2
教育委員会会議	3
① 会議の開催状況（平成21年度実績）	3
② 審議状況	3
教育委員の活動	3
① 教育委員の所管施設訪問状況	3～5
(3) 評価・課題	5
2 点検評価の目的	6
3 学識経験者の知見の活用	6
○ 学 識 経 験 者	6
4 点検評価の対象	7
○ 人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業	7
5 点検評価の結果	7
(1) 点検評価シートの見方	8～9
(2) 事業の評価基準	10
(3) 総合評価基準	10
(4) 点検評価シート	10
学校施設の耐震化事業	11～12
人吉市学習支援事業「夏休みこどもリテラシー（読み・書き・計算）教室」	13～14
特別支援教育支援員配置事業	15～16
地場産品利活用の推進	17～18
学校支援地域本部事業	19～20
総合型地域スポーツクラブ事業	21～22
犬童球溪頭彰音楽祭	23～24
史跡人吉城跡保存整備事業	25～26
カルチャーパレス自主文化事業	27～28
図書館管理システム事業	29～30
〈 教 育 方 針 〉	31

〈はじめに〉

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、平成21年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表するものです。

人吉市教育委員会

人吉市教育委員会委員名簿

(平成22年11月30日現在)

委員長	大園 武義
委員（職務代理者）	山本 泰弘
委員	馴田 順子
委員	宮山 惇
委員（教育長）	堀 秀行

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会の概要

〈教育委員会の目的〉

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適性に行われなければならないとなっている。

本市においては、人吉市教育基本方針を大きな柱とし、人吉市教育目標を定め、さらに学校教育、社会教育、文化振興、スポーツ振興の観点から努力目標を掲げ、①地域ぐるみで子ども・学校支援事業、②幼保小中連携プログラム事業、③ふるさと感の醸成事業、④安全・安心サポート事業の展開を行い、教育委員会委員を中心に高い使命感を持って、市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努力している。

〈人吉市教育委員会委員（平成21年度のエデュケーター）〉

役職名	氏 名	就 任	任期満了
委員長	大園 武義	平成 17 年 7 月 1 日	平成 23 年 6 月 30 日
委員（職務代理者）	安永 弁裕	平成 9 年 10 月 1 日	平成 21 年 9 月 30 日
委員（職務代理者）	山本 泰弘	平成 10 年 4 月 10 日	平成 22 年 4 月 9 日
委員	馴田 順子	平成 21 年 1 月 1 日	平成 24 年 12 月 31 日
委員	宮山 惇	平成 21 年 10 月 1 日	平成 25 年 9 月 30 日
委員（教育長）	鳥井 正徳	平成 17 年 7 月 1 日	平成 21 年 6 月 30 日
委員（教育長）	堀 秀行	平成 21 年 7 月 1 日	平成 25 年 6 月 30 日

(2) 教育委員会の主な活動内容

〈教育委員会の活動状況〉

教育委員会の活動としては、教育委員5名で、小学校7校、中学校3校、計10校の学校訪問を行い、教育現場の声を活かした教育行政を推進してきた。

また、視察研修として、長崎県島原市で開催された、第8回九州地区市町村教育委員研修大会に参加し、九州各県、各市町村教育委員との情報交換を行い、「地域の教育力向上に果たす教育委員会の役割」というテーマの下、佐賀県吉野ヶ里町・宮崎県五ヶ瀬町・沖縄県那覇市・長崎県西海市の各教育委員会の取組をうかがい、本市教育委員会がこれから果たすべき役割等を再認識するとともに、教育委員として見識を深めることができた。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を年15回開催し、審議事項35件、報告・協議等71件について審議・協議を行い、今後取組むべき事業の方向性を決定した。

更に、「広報ひとよし」を利用し、定例の教育委員会会議等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指している。

〈教育委員会会議〉

① 会議の開催状況（平成21年度実績）

会 議	開 催 数	傍聴者数
定例会	12回（月1回）	5人
臨時会	3回	1人

② 審議状況

（ア）付議案件数

議案	35件
報告・協議等	71件

（イ）会議に付された主な案件

- ・人事案件について
- ・教育委員会の点検及び評価について
- ・教育方針について
- ・後援願の承認について
- ・規則・要項の制定及び改正について
- ・奨学生の決定について
- ・一般会計予算及び特別会計予算について
- ・損害の賠償について
- ・学校支援地域本部事業について

（ウ）協議事項

- ・全国学力・学習状況調査について
- ・教育委員会の運営状況について
- ・図書館の臨時休館について

〈教育委員の活動〉

① 教育委員の所管施設訪問状況

（ア）学校訪問

区 分	対 象	期 日	教育委員出席状況
小学校訪問	7校	平成21年6月～11月	延べ35人
中学校訪問	3校		延べ15人

(イ) 他の主な会議・行事等

会議・行事等	期日	教育委員出席状況
教職員辞令伝達式	平成21年4月1日	5名
小中学校入学式	平成21年4月	延べ7名
人権教育協議会	平成21年4月23日、6月3日 7月28日、9月4日	延べ8名
人吉城歴史館特別展	平成21年4月25日、9月20日	2名
全国少年剣道大会	平成21年5月2日、3日	4名
中学校体育大会(2校)	平成21年5月17日	3名
大畑小第三中学校合同運動会	平成21年5月17日	1名
県市町村教育委員会連絡協議会	平成21年5月18日	2名
学校給食センター運営委員会臨時総会	平成21年5月25日、9月7日 12月17日	3人
人吉球磨学校給食会研修会	平成21年5月28日	1名
学校給食センター運営委員会常任委員会	平成21年7月15日 平成22年3月18日	2名
小学校運動会(2校)	平成21年5月31日	2名
学校関係者評価委員研修	平成21年6月	5名
学校給食センター運営委員会総会	平成21年7月15日 平成22年3月18日	2名
童話発表大会	平成21年7月26日	1名
学校給食センター運営委員会給食費滞納対策 専門部会	平成21年8月20日、9月7日、 11月25日	3名
第8回九州地区市町村教育委員研修大会	平成21年8月27日、28日	5名
ドリームベースボール ～名球会、OBクラブがやって来る！	平成21年9月6日	4名
小学校運動会(4校)	平成21年10月4日	4名
第23回県市町村教育長研修大会	平成21年10月8日、9日	1名
第23回九州郡市教育長協議会	平成21年10月15日	1名
校区民体育祭(1校区)	平成21年10月18日	2名
人吉球磨総合美展	平成21年10月24日	2名
人吉文化祭	平成21年10月31日	2名
犬童球溪頭影音楽祭	平成21年11月13日	2名
成人式	平成22年1月3日	5名
郡市学校給食研究競技大会	平成22年2月5日	1名
市町村新任教育委員研修会	平成22年2月9日	1名
県市町村教育委員大会	平成22年2月9日	5名
ひとよし春風マラソン	平成22年2月20日、21日	1名

人吉市立教育研究所発表大会	平成22年2月	5名
小中学校卒業式	平成22年3月	5名
郡市退職者辞令交付式	平成22年3月31日	2名

(3) 評価・課題

①教育委員会会議以外に独自に議論や意見交換の場を持ち、教育委員会内の問題点や課題に対する認識を深め解決に努めた。

②教育委員が市長との懇談を持つことにより、市が目指す方向性を確認するとともに整合性を図り、市における総合計画の基本理念に沿った教育行政を展開した。

③教育委員会における点検・評価の中に、教育委員の活動を盛り込むことにより、教育委員の自らの活動の公表を行い、現状課題の検証を行った。

④教育委員会と学校との相互関係をパートナーとして位置づけることによって、新たな認識に基づく連携を構築することを追究した。

⑤教育委員会会議の日程のお知らせを行い市民の傍聴を促したが、少数の傍聴者の来場しかみなかった。今後も「開かれた教育委員会」を目指し、事務局の業務を含む教育委員会の活動状況や情報の提供を広報掲載や傍聴といった手段で行っていくことが大切と考える。

2 点検評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検評価」が位置づけられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

委員会では、広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について3名の学識経験者から様々なご意見、ご助言をいただき、そのご意見等を参考にしながら教育委員会の点検評価を行ったところです。

○ 学識経験者

田上 明仁（たがみ あきひと）氏 （有）青井運送 サガラテック（有） 代表取締役 市PTA連合会会長
大石 不器夫（おおいし ふきお）氏 元小学校校長
西岡 なおみ（にしおか なおみ）氏 元学校関係者

4 点検評価の対象

平成22年度に点検評価を行う事業は、平成21年度の人吉市教育基本方針に基づき教育委員会が実施した主要な10事業としました。

○ 人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業

課 等 名	点 検 及 び 評 価 を 行 う 事 務
教 育 総 務 課	学校施設の耐震化事業
学 校 教 育 課	人吉市学習支援事業「夏休みこどもリテラシー（読み・書き・計算）教室」
	特別支援教育支援員配置事業
	地場産品利活用の推進
社 会 教 育 課	学校支援地域本部事業
	総合型地域スポーツクラブ事業
文 化 振 興 課	犬童球溪顕彰音楽祭
	史跡人吉城跡保存整備事業
施 設 管 理 課	カルチャーパレス自主文化事業
	図書館管理システム事業

5 点検評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら、平成22年度の行政評価システムに沿って、4項目の観点から事業評価を行い、今後の方向性を示す点検評価を行いました。

(1) 点検評価シートの見方

点検評価シート (評価対象:平成21年度事業)

1 事業名	教育委員会が行った事務事業名													
2 担当部課名	担当課名						担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称					
			事業の目的に合致した第4次総合計画における政策名称						事業の目的に合致した第4次総合計画における施策名称					
4 誰のために行うか〔受益者〕	誰のために行う事業なのか													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	事業の実施により誰を、どのような状態にしたいのか(意図・ねらい・コンセプト)													
6 事業の実施内容(平成21年度の進捗含む)	事業の全体概要と平成21年度の進捗状況													
7 平成21年度に実施した方向性からの改善	21年度事業実施における改善策													
8 類似・重複事業の有無	有・無	類似・重複と思われる事業名				類似・重複事業の有無及びそうと思われる事業名								
9 外部団体の活用	活用している・活用できない・活用できる(検討中も含める) 団体名													
	活用できない理由(担当課確認リストを含む)				当該事業を外部団体に活用しているか、活用できないか、活用できるものか、またその理由									
10 活動指標	指標名		単位		説明			目標値の設定内容						
	事業の実施内容を意識しながら、実施した事業量(活動量)を表す指標				指標の補足説明(指標の算出式等)			学校施設耐震化年次計画に基づき実施した棟数						
11 成果指標	事業を実施する事によって生じる市民の満足度を表す指標				同上			同上						
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H20年度(実績)		H21年度(実績)		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度	
		実績値			上に設定した指標の21年度の目標値と実績値		22年度以降の目標値については仮置きの数値であって正式な数値ではありません。							
		<達成度>	—						—		—		—	
		(2) 成果指標	目標値			上に設定した指標の目標値と実績値								
		実績値							—		—		—	
		<達成度>	<0%>						—		—		—	
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～													
	総事業費													
	千円													
	合計		0千円		0千円				0千円		0千円		0千円	
	財源内訳	① 国庫補助金												
		② 県補助金												
		③ 起債												
		④ その他												
		⑤ 一般財源		0		0				0		0		0
14 活動一単位当たりのコスト	—		—		—		—		—		—		—	

(1)点検評価シートの見方

平成22年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	評価の結果において明らかになった問題点や改善する必要がある事項に対する今後の具体的な改善策等の案		
平成23年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	評価の結果を踏まえて、平成23年度以降における当該事業の「方向性」及び「その方向性を選択した理由」
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
教育に関し学識経験を有する者の意見

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
教育委員会における事業評価と総合評価(評価基準についてはP10のとおり)					
教育委員会における意見					

(2) 事業の評価基準

	評 点				
	4	3	2	1	0
必 要 性	(事務事業に対する市民ニーズ・妥当性・緊急性について)				
	行政が関与する事業で妥当性も緊急性もある	行政が関与すべき事業で妥当性はあるが緊急性はない	行政が関与すべき事業で妥当性はないが緊急性はある	行政が関与すべき事業だが妥当性も緊急性もあまりない	行政が関与する必要はない
有 効 性	(上位施策の目的達成に対する事務事業の貢献度について)				
	高い	やや高い	やや低い	低い	
達 成 度	(成果及び事業の実績の目標に対する達成状況や満足度について)				
	指標が適切で目標どおり達成している	概ね達成している	あまり達成していない	目標、計画値の設定が曖昧。実績値を把握していない	
効 率 性	(費用対効果としてコスト改善について)				
	高い	やや高い	やや低い	低い	

(3) 総合評価基準

区 分	評価結果に基づく改善等の内容
A	計画どおりに事業を進める(拡充を含む)ことが適当(現状どおり管理・運営を進めることが適当)
B	事業の進め方の改善の検討(利用率向上等の改善の検討)
C	事業規模・内容または実施主体の見直しの検討(施設運営主体の見直しの検討)
D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討(休・廃止を含めた施設のあり方の検討)

(4) 点検評価シート(P11~P30)

平成22年度点検評価シート

(10事業)

点検評価シート (評価対象:平成21年度事業)

1 事業名	学校施設の耐震化事業													
2 担当部課名	教育部教育総務課						担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称					
		6	幸せを実感できる地域福祉社会の実現をめざして					17	安全で安心な生活環境の整備					
4 誰のために行うか〔受益者〕	市内各小中学校の児童・生徒、教職員、及び学校施設を利用する一般市民													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	大規模地震に耐え得る施設補強整備を施すことで、安全で安心な教育環境の整備と災害時の避難場所としての機能強化を図るもの。													
6 事業の実施内容 (平成21年度の進捗含む)	学校施設の耐震化については、平成17年度から平成25年度にかけての年次計画に基づき、優先度調査、二次診断、実施設計、補強工事の順に事業を進めている。 平成20年度に二次診断を全て終え(繰越により平成21年度に完了)、平成21年度においては、平成22年度以降に実施予定であった小学校3校の補強実施設計(3校共に繰越により平成22年度に設計完了)、小学校1校、中学校1校の耐震補強工事(中学校1校は繰越により平成22年度に工事施工)を実施した。													
7 平成21年度に実施した方向性からの改善	国の経済危機対策に伴う臨時交付金等を活用し、年次計画スケジュールの見直しを行い、事業を前倒し、耐震化事業全体の加速化を行った。													
8 類似・重複事業の有無	有 ☒ 無 ☐ 類似・重複と思われる事業名													
9 外部団体の活用	活用している・活用できない・活用できる(検討中も含める) 団体名													
	活用できない理由 (担当課確認リストを含む) 児童・生徒・教員及び市民の安心、安全を保障する事業であるため、直接施工が適当である。													
10 活動指標	指標名		単位		説明				目標値の設定内容					
	耐震工事等実施棟数		棟		耐震化を要する対象建物(棟数)のうち、補強工事等を実施した棟数				学校施設耐震化年次計画に基づき実施した棟数					
11 成果指標	耐震化率		%		学校施設全棟数のうち、耐震性のある棟数割合				耐震性のある棟数					
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H20年度(実績)		H21年度(実績)		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度	
		実績値	2		5		0		3		1		1	
		<達成度>	<100.00%>		<100.00%>		—		—		—		—	
		目標値	77		88		88		95		98		100	
		実績値	77		88		—		—		—		—	
		<達成度>	<100.00%>		<100.00%>		—		—		—		—	
	(2) 成果指標	目標値	77		88		88		95		98		100	
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費	
	～		二次診断		494		補強設計		18,018		補強工事		150,000	
	総事業費		補強設計		3,245		補強工事		184,102		補強工事		67,000	
	千円		補強工事		74,751						補強工事		150,000	
	合 計		78,490千円		182,120千円		0千円		150,000千円		67,000千円		150,000千円	
	財源内訳	① 国庫補助金	38,945		169,191				75,000		33,500		75,000	
		② 県補助金												
		③ 起 債	31,500		6,500				56,250		25,125		56,250	
		④ その他												
		⑤ 一般財源	8,045		6,429		0		18,750		8,375		18,750	
14 活動一単位当たりのコスト	39,245.0千円		36,424.0千円											

平成22年度以降の改善等を踏まえた事業の内容 15	今後、さらに国の様々な交付金等を活用しながら学校施設耐震化年次計画スケジュールを随時見直し、早期に全校の耐震化の完了を目指す。		
平成23年度以降の事業の方向性 16	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☒	この学校施設の耐震化事業は、児童・生徒・教職員及び市民の安全を保障する緊急的な重要事業であることを認識し、国の交付金等を積極的に活用し、更なる事業の前倒しを図り、1年でも早く全校の耐震化完了を目指さなければならない事業である。
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ 国等の各種補助金を活用し、出来る限り早期の完了を望みます。 ・ 工期・工法等については、学校側への十分な説明と理解を得るための配慮をお願いしたい。 ・ 児童・生徒・教職員及び市民の安全を保障する緊急的な重要事業であることを認識しておりながら、12棟を6年かかりで工事するのは疑問である。また、工事の順番は誰がどうやって決めたのか？国から予算をつけてもらわなければ出来ないのか？保護者や先生方はこのことを知っているのか？等の周知をお願いしたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
児童・生徒・教職員及び市民の安心・安全を保障するためには緊急的な重要事業である。ただ莫大な予算を必要とすることから、国からの有利な交付金等を最大限に活用し、計画的に取組、早期な完成を目指していく必要がある。						

点検評価シート （評価対象：平成21年度事業）

1 事業名	人吉市学習支援事業「夏休みこどもリテラシー（読み・書き・計算）教室」											
2 担当部課名	教育部学校教育課				担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称		施策	コード	名称					
		4	ふるさとを支える豊かな人づくりをめざして			12	生きる力を育む学校教育の推進					
4 誰のために行うか〔受益者〕	小学校児童3年生											
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	3年生までの読み・書き・計算の基礎学力が身につけていないと、特に難易度が高まる4年生以降の勉強についていけなくなることから、その基礎学力の定着度を総体的に高めていきたい。											
6 事業の実施内容（平成21年度の進捗含む）	教職員経験者が講師（学習サポーター）として、また、高校生や特別支援教育支援員がその補助（学習サポーター補助）として、市内の小学校3年生の希望者を対象に実施した。1年から3年の1学期までに学習した範囲を復習するかたちで、読み・書き・計算の問題を解かせて指導を行った。期間は夏休みの9日間で、1日につき2時間の学習を行った。											
7 平成21年度に実施した方向性からの改善	対象校について、平成20年度は人吉東小学校・人吉西小学校の2校であったが、平成21年度は市内全小学校児童を対象として実施した。 また、特別支援教育支援員を学習サポーター補助として活用し、指導の充実を図った。											
8 類似・重複事業の有無	有 ☒ 無 ☐		類似・重複と思われる事業名									
9 外部団体の活用	活用している・活用できない・活用できる（検討中も含める）						団体名		退職校長会			
	活用できない理由（担当課確認リストを含む）											
10 活動指標	指標名		単位	説明		目標値の設定内容						
	学習日数		日	計画された開催日数		参加者全員の出席すべき総日数						
11 成果指標	参加子ども満足度		%	参加した子どもアンケートによる満足度		概ね100%						
12 指標値			H20年度(実績)	H21年度(実績)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度				
	(1) 活動指標	目標値	826	1,557	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360			
		実績値	736	1,396	—	—	—	—	—	—		
	(2) 成果指標	目標値	162	100	100	100	100	100	100	100		
		実績値	119	93	—	—	—	—	—	—		
		<達成度>	<89.10%>	<89.66%>	—	—	—	—	—			
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	H20 ~		報償費等	189	報償費等	326	報償費等	534	報償費等	534	報償費等	534
	総事業費											
	千円											
	合 計		189千円	326千円	534千円	534千円	534千円	534千円	534千円	534千円		
	財源内訳	① 国庫補助金										
		② 県補助金										
		③ 起 債										
		④ その他										
		⑤ 一般財源	189	326	534	534	534	534				
14 活動一単位当たりのコスト			0.3千円	0.2千円								

15 平成22年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	学習サポーター及びサポーター補助の充実をはかり、それぞれの子ども状況に即したきめ細かい指導を行っていく。		
16 平成23年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	読み・書き・計算の基礎学力を定着させる絶好の機会である。 また、平成21年度から対象を市内全小学校児童に拡大して実施しており、この事業に対して、児童・保護者・現場教師から高い評価を得ているため、引き続き実施していく。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・基礎学力の定着、児童の学習への意欲づけにもつながるユニークな事業であるので、今後も改善を加えながら継続していただきたい。 ・受講生を増やす工夫をお願いしたい。 ・問題集については、使用している教科書との突合せを行うなど、毎年見直しをお願いしたい。 ・何を学習しているのか分かりにくいという保護者の意見もあるので、学習内容や学習方法の事前周知が必要と思われる。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	A	

基礎学力の格差をなくし、児童の学習意欲の向上を目標に平成19年度から行ってきたが、当初の目的は概ね達成してきたと思われる。今後は、受講生の拡大を念頭におき、更には退職教職員の方々を中心としたサポーターの拡大を目指し継続的に推進していく必要がある。

点検評価シート (評価対象:平成21年度事業)

1 事業名	特別支援教育支援員配置事業														
2 担当部課名	教育部学校教育課						担当者名		—						
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称						
		4	ふるさとを支える豊かな人づくりをめざして					12	生きる力を育む学校教育の推進						
4 誰のために行うか〔受益者〕	小・中学校の児童・生徒及び教職員														
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	発達障害を含む様々な障害のある児童を適切に支援するために、特別支援教育支援員を学校に配置することにより、特別支援教育の充実を図りたい。その結果学級担任の負担軽減に伴い他の児童へも配慮した学級経営をめざしたい。														
6 事業の実施内容 (平成21年度の進捗含む)	特別支援教育支援員は、学校長の指揮監督の下に担当教諭と協力し、障害のある児童に対して、学校生活上の介助・学習指導上の支援等を行う。また、対象となる児童は年々増加傾向にある現状から、特別支援教育支援員を3名増員し、人吉東小学校に3人、人吉西小学校に2人、東間小学校に1人、西瀬小学校に2人、中原小学校に2人の計10人を配置することにより、きめ細かな支援が可能となった。勤務条件は年220日以内、週5日以内の29時間以内で従事する。														
7 平成21年度に実施した方向性からの改善	特別支援教育支援員個々の資質の向上を図るために、研修会を実施した。また、支援員間の意見交換の場を提供することにより、支援員同士の連携が取れ、取組に対する共通理解が得られた。														
8 類似・重複事業の有無	有	☒ 無	類似・重複と思われる事業名												
9 外部団体の活用	活用している・活用できない(検討中も含める) ☒ 活用できる(検討中も含める) ☐ 団体名														
	活用できない理由 (担当課確認リストを含む)						公平・公正・守秘義務が保証されない。								
10 活動指標	指標名		単位		説明		目標値の設定内容								
	特別支援教育支援勤務日数		日		特別支援教育支援員の必要度を測定		勤務日数上限220日とした								
11 成果指標															
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H20年度(実績)		H21年度(実績)		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度		
		実績値	1,540		2,200		3,300		3,300		3,300		3,300		
		<達成度>	<100.00%>		<98.36%>		—		—		—		—		
	(2) 成果指標	目標値													
		実績値					—		—		—		—		
	<達成度>	<0%>		<0%>		—		—		—		—			
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費		
	20 ~		報酬		9,240		報酬		12,984		報酬		19,800		
	総事業費		社会保険料		1,197		社会保険料		1,766		社会保険料		2,734		
	14,991 千円														
	合 計		10,437千円		14,750千円		22,534千円		22,534千円		22,534千円		22,534千円		
	財源内訳	① 国庫補助金													
		② 県補助金													
		③ 起 債													
		④ その他													
		⑤ 一般財源		10,437		14,750		22,534		22,534		22,534		22,534	
14 活動一単位当たりのコスト	6.8千円		6.8千円												

15 平成22年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	増えつつある児童・生徒への支援を充実させるため、支援員を5名増員するとともに、小学校での支援を継続するため、支援員の配置を中学校まで拡大した。更に、生徒の個に応じた対応ができるよう、支援員の資質を更に向上させるため研修会の内容を検討する。		
16 平成23年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	発達障害等を持つ児童が年々増加の傾向であることから、個々に応じた特別支援教育の重要性と現場教諭や保護者から特別支援教育支援員への期待が大きくなっている。但し、事業予算が全額市費であることから、市財政事情を考慮する必要性も考慮し、現状維持が望ましい。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ ありがたい事業です。これからもよろしくお願いします。 ・ 発達障害のある児童・生徒が年々増加している現状から考えると、まだまだ支援員を必要としている学校があると思われる。財政面や人材確保の面などから厳しい現状にあることは理解できるが、児童・生徒一人一人の持てる力を伸ばし、将来への明るい展望を持たせるという大局的観点からも更なる拡大を目指す方向で事業展開をお願いしたい。 ・ 支援員をどこまで増員すればという限度的見極めが困難だと思われるので、資質の向上啓発に力を注ぐことが肝要と思われる。 ・ 少人数でより高い効果を上げるためには、同じ土俵にいる教職員・クラスの児童・家族等が一丸となって取り組む姿勢が必要だと思われる。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	A	
障害のある児童・生徒への支援は、学校の中で恒常的に実施され、行政が実現すべき必要性の高い事業であることは間違いなく、支援員配置が有効性の高い手段であることも間違いない。今後は教職員・支援員との連携を図りより効果的な支援を目指していく必要がある。						

点検評価シート （評価対象：平成21年度事業）

1 事業名	地場産品利活用の推進											
2 担当部署名	教育部学校教育課					担当者名		—				
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称				
		4	ふるさとを支える豊かな人づくりをめざして				12	生きる力を育む学校教育の推進				
4 誰のために行うか〔受益者〕	市内小中学校児童・生徒、保護者及び学校職員。											
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	地域の産物を学校給食に活用することで地域の食文化、食に係る産業又は自然環境の恵沢に対する児童生徒の理解の増進を図る。											
6 事業の実施内容（平成21年度の進捗含む）	地場生産者のより新鮮で良質な農作物を給食用食材として多く取り入れ、知育、徳育、体育の基礎となるべき食育の生きた教材としての充実を図ることができた。											
7 平成21年度に実施した方向性からの改善	生産者の高齢化によって、地場産品の納入量が、年々現状維持することが困難となっている。さらに児童生徒数も年々減少し、使用食品そのものの使用量が減少している。しかしながら、給食センターとしては、地場産品の納入量を出来るだけ現状維持したい。20年度は、給食センターで利用している主要農産物5品目の年間利用月数で、事業報告したが、この報告方法だと、21年度以降の各年度も同じ実績が考えられるので、21年度からの活動指標及び成果指標を新規農産物の模索を指標とした。											
8 類似・重複事業の有無	有 ☒ 無 ☐		類似・重複と思われる事業名									
9 外部団体の活用	活用している ☒ 活用できない・活用できる(検討中も含める) ☐ 団体名 林玉葱生産組合											
	活用できない理由(担当課確認リストを含む)											
10 活動指標	指標名		単位	説明		目標値の設定内容						
	地場産品利活用(前年は農産物利用回数)		品目	地場産品の年間利用品目数。実績で平成20年度は23品目を利用した。		平成20年度地場産品の年間利用品目数を基準とし、平成21年度からの目標値を10%増として25品目とする。						
11 成果指標	給食における地場産品の利用(前年は農産物利用回数)		%	地場産品の年間利用品目数。		地場産品の年間利用品目の実績(平成20年度を100%とする。)						
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H20年度(実績)	H21年度(実績)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度				
		実績値	23	22								
		<達成度>	—	<86.96%>	—	—	—	—				
		目標値		23								
		実績値	23	22	—	—	—	—				
		<達成度>	<0%>	<95.65%>	—	—	—	—				
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～		地場産品利活用		地場産品利活用		地場産品利活用		地場産品利活用		地場産品利活用	
	総事業費											
	千円											
	合 計		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円				
	財源内訳	① 国庫補助金										
		② 県補助金										
		③ 起 債										
		④ その他										
		⑤ 一般財源	0	0	0	0	0	0				
14 活動一単位当たりのコスト	0.0千円		0.0千円									

平成22年度以降の改善等を踏まえた事業の内容 15	給食センターにおける地場農産物の納入量については、現在以上の納入量の増加は困難と思われるので、新規納入の地場農産物を模索する。		
平成23年度以降の事業の方向性 16	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☒	地場産品の利活用は、給食センターとしては拡大の方向性だが、現在、生産者が供給できる地場産品の納入量、納入回数については、供給限界の状態である。しかしながら、平成19年度から行っている生産者との意見交換会などの話し合いなどを密にして、新規地場産品を模索して、地場産品品目の利用増を目指す。
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ 児童・生徒に地場産品が使われている事を広報・放送等で周知されていることはとても良い事だと考える。自分たちの周りで出来た産品がおいしくて、安全なものであるという事を知るとは、郷土愛にも繋がり農業、製造業への関心も高まることが期待できる。 ・ 食の安心・安全を保障するためにも、地場産品を給食に活用していくという方向性は大いに歓迎したい。しかし、利活用数の拡大という視点にだけこだわってほしくない。本当に良いものを厳選していく質的な視点も大事にして欲しい。結果として、活用品数や食材に占める割合が増加することは結構なことである。 ・ とても良い事業だと思うが、評価しにくい。納入量や回数、品目の数だけではなく、総額に占める割合を見たかった。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	A	

地場産品の利活用は、食の安心・安全を保障するためにも有効な手段であると考えます。さらに、児童・生徒の周りで出来た産品が毎日おいしく口に出来るという事で、地元への愛着も自然と芽生え、健全な学校生活を送ることはもちろんのこと、食育という面からみても今後計画通りの事業展開を目指していく必要がある。

点検評価シート (評価対象:平成21年度事業)

1 事業名	学校支援地域本部事業									
2 担当部課名	教育部社会教育課					担当者名		—		
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称		
		4	ふるさとを支える豊かな人づくりをめざして				11	豊かで、活力ある地域社会を支える生涯学習の推進		
4 誰のために行うか〔受益者〕	人吉市二中校区児童・生徒・教職員									
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	学校と地域との連携体制の構築を図り、地域全体で学校教育を支援し、教員が子どもと向き合う時間の拡充や地域教育力の活性化、社会教育で学んだことを活かす場とする。									
6 事業の実施内容 (平成21年度の進捗含む)	平成20年度～22年度までの3ヶ年委託事業として、2年目となり、学校支援ボランティアの養成と登録者目標数の200名を超す、204名(H22.3現在)の登録者を得ることができた。さらに、登録ボランティアによる学校支援活動も本格稼働となり、地域教育力の向上と地域と学校との連携体制の強化を図ることができた。地域教育協議会6回、ボランティア養成講座1回、地域コーディネーター養成講座1回、ボランティアの集い1回を開催。									
7 平成21年度に実施した方向性からの改善	地域教育協議会を2ヶ月に一回開催し、運営組織の強化連携を図り、またボランティア養成講座等の研修会の開催により、登録者の意識化と支援活動の実践化につなげることができた。									
8 類似・重複事業の有無	☒ 有 ☐ 無		類似・重複と思われる事業名		コミュニティスクール事業(人吉市第一中学校)					
9 外部団体の活用	☒ 活用している ☐ 活用できない・活用できる(検討中も含める)						団体名		子ども会育成連絡協議会・PTA連絡協議会・老人会等	
	活用できない理由 (担当課確認リストを含む)									
10 活動指標	指標名		単位		説明		目標値の設定内容			
	ボランティア登録者数		人		学校支援ボランティア登録者数		登録者200名以上			
11 成果指標	支援の実践をした登録者の割合		%		支援の実践をした登録者		全登録者の80%			
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H20年度(実績)	H21年度(実績)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度		
		実績値	100	200	250	250	250	250		
		<達成度>	117	204	—	—	—	—		
	(2) 成果指標	目標値	94	163	200	200	200	200		
		実績値	76	157	—	—	—	—		
		<達成度>	<80.85%>	<96.32%>	—	—	—	—		
13 事業年次計画 財源内訳	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～			1,580		1,675		1,876		664
	総事業費									
	千円									
	合 計		1,580千円	1,675千円	1,876千円	664千円	664千円	664千円		
	① 国庫補助金									
		② 県補助金	1569	1675	1873					
			③ 起 債							
				④ その他						
					⑤ 一般財源	11	0	3	664	664
14 活動一単位当たりのコスト	13.5千円		8.2千円							

15 平成22年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	平成22年度は本委託事業の最終年度となるため、年度内にボランティア組織の拡充強化を図るとともに、学校支援の本格的な実践を推進していくと共に各支援ボランティアグループによる自主運営の組織化を図っていく。		
16 平成23年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	本委託事業の最終年度となる22年度までに地域教育協議会を中心として、支援ボランティア組織を強化し、本格的な支援の実践化を推進し、委託事業終了後は本組織を継続し活かしながら、各支援グループからボランティアによる地域コーディネーターを登用した自主運営を行ない、学校支援活動を推進していく。(委託事業が廃止となるため、平成23年度以降は予算面では縮小となるが活動内容的にはこれまでの支援活動を維持していくこととなる。)
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見	
・ この様に子どもを中心とした地域のコミュニティの向上が人づくり、街づくりには必要だと思う。 ・ 学校を取り巻く地域全体が一丸となって地域の子どもの育成を育ていく体制が確立しつつあると見受けられる。児童生徒は減少しても元気な熟年者が地域にはたくさんおられるので、そのまま活動が継続し、他の校区にも良い形で波及ができればいいと考える。 ・ 年々ボランティア登録者数も増加し、活動の数や内容も広がってきているのは望ましいことである。この事で学校と地域の交流が活発になり、開かれた学校づくりにも役立っていると思われる。 ・ 現在の学校は、学習指導以外にも様々な課題を抱えており、多忙を極めている現実がある。教員が子どもと向き合う時間を少しでも保障していくためにも、本事業のような支援活動がスムーズに運営され、日常化していくことを希望する。そのためには、地域の諸活動団体との密接な連携も含めた組織作りとコーディネーターの配置、さらに地域住民の意識を高めるための啓発活動の工夫が必要であろう。	

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
地域の中の学校、地域の宝である子どもたちを支援する地域組織としてのこの事業は、地域力を結集したボランティア組織として、その認知度を高めながら地道に活動しており、保護者及び教職員から歓迎の声が多い。今後、組織の定着と人件費を伴うコーディネーターを要しないように各分科会が自立的に活動していく質と量を目指していく必要がある。						

点検評価シート (評価対象:平成21年度事業)

1 事業名	総合型地域スポーツクラブ事業														
2 担当部課名	教育部社会教育課						担当者名		—						
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称						
		2	交流が都市の元気を生み出すまちづくり					4	スポーツ交流都市づくり						
4 誰のために行うか〔受益者〕	子どもから高齢者までの市民														
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	誰もが気軽にスポーツや文化活動を楽しみ、「ひとづくり」「まちづくり」を推進し、いきいきとしたコミュニティの創造と、健康で笑顔あふれる街づくりに貢献する。														
6 事業の実施内容 (平成21年度の進捗含む)	年間を通じ定期的に開催する14の教室は延べ381回開催され、234名の会員が平均1.4教室に参加した。また、クラブの知名度を上げるために、市役所3階ベランダへの大型看板の設置、クラブ旗の作成、年3回のクラブ広報紙発行、広報ひとよしへの記事連載、オリジナルTシャツ作成などの広報活動を行った。そして、クラブの全体行事として「スナッグゴルフ」と「ペタンク」を開催し、会員及び指導者の交流の場としての機会をつくり、クラブコミュニティの推進に努めてきた。														
7 平成21年度に実施した方向性からの改善	指導者認定制度として、「カルヴァーリョ・ラッソ人吉」スポーツ指導者の養成に関する要項を作成した。年4回にわたる講義及び実技の研修会を開催し、クラブ指導者のスキル向上を図った。														
8 類似・重複事業の有無	有	☒ 無 類似・重複と思われる事業名													
9 外部団体の活用	活用している>活用できない・活用できる(検討中も含める) 団体名 人吉市体育指導委員協議会														
	活用できない理由 (担当課確認リストを含む)														
10 活動指標	指標名		単位		説明		目標値の設定内容								
	教室開催数		回		教室数		13種目以上								
11 成果指標	会員数		人		教室に参加する会員数		延べ200名以上・対前年比10%以上								
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H20年度(実績)		H21年度(実績)		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度		
		実績値	13		14		14		15		15		15		
		<達成度>	<100.00%>		<100.00%>		—		—		—		—		
	(2) 成果指標	目標値	200		200		220		240		260		280		
		実績値	400		234		—		—		—		—		
		<達成度>	<200.00%>		<117.00%>		—		—		—		—		
13 事業年次計画 財源内訳	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	
	20 ~ 24		育成事業	825	活動支援事業	2,105	活動支援事業	1,500	活動支援事業	1,500	活動支援事業	1,500	活動支援事業	1,500	
	総事業費		会費等収入	516	会費等収入	855	会費等収入	880	会費等収入	900	会費等収入	920	会費等収入	940	
	千円														
	合計		1,341千円		2,960千円		2,380千円		2,400千円		2,420千円		2,440千円		
	① 国庫補助金														
② 県補助金															
③ 起債															
④ その他															
⑤ 一般財源															
14 活動一単位当たりのコスト			103.2千円		211.4千円										

15 平成22年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	協賛事業所を募り事業所と会員のネットワークを構築し、クラブ理念である「ひとづくり」「まちづくり」を推進していく。		
16 平成23年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☒	(財)日本体育協会による総合型地域スポーツクラブ活動支援事業(toto助成)による支援が見込める間(平成20年度～平成24年度)は、会費収入と併せ比較的安定したクラブ運営が見込める。この財政基盤が安定している期間において、会員の確保と指導者のスキル向上、協賛事業所との協働を行い、将来のクラブ運営の安定化を図る。
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ 医療費の問題からみても、市民が健康で生活できるようになった方が良いのでどんどん拡大して欲しい。 ・ スポーツも文化クラブも慣れてないものにはなかなか参加出来ないという先入観が邪魔をして機会を逸するという事があると思うが、良い事業だと思う。 ・ 様々な広報活動で知名度を上げる努力をされているが、一般市民の認知度はあまり高くないように感じる。これからも一つ一つ積み上げていく事で認知度も高まると思う。改善の方向性として「協賛事業所を募り、事業所と会員のネットワークを構築する」とあるが、これを一つの突破口として更に口コミ等による周知も期待したい。 ・ スポーツも文化クラブも知らない者にも挑戦できるようデモンストレーション的なものを見せて、老若男女でチームを組んだ大会等が出来るようになれば世代間交流も出来、市民の連帯感も生まれていいと思う。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	

既存の競技団体や組織とは違い、生涯にわたリスポーツを楽しむ場を地域に提供し、定着させることが目的である。この目的を達成するためにも、指導者の育成を進め、活動の場を確保しつつ、より魅力的な教室を創設する事で、更なる会員の増加を図り、行政主導の画一的な手法を見直し、地域が一体となって自立した生涯スポーツ組織を目指していく必要がある。

点検評価シート (評価対象:平成21年度事業)

1 事業名	犬童球溪顕彰音楽祭													
2 担当部課名	教育部文化振興課						担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称					
		1	ふるさとへの誇りと愛情に支えられたまちづくり					2	先人の物語を21世紀に語り継ぐために					
4 誰のために行うか〔受益者〕	市民等による出場者及び観客													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	①音楽祭を通じて、犬童球溪先生の偉業を顕彰するとともに、参加者(大人&子ども)同士の交流及び演奏のレベルアップを図る。 ②街中に音楽が響き渡るまちづくりを目指し、音楽の街としての人吉市の知名度を高める。													
6 事業の実施内容(平成21年度の進捗含む)	1. 個人コンクール：小中高校生による独奏・独唱のコンクール。8月の予選には137人の申込があり、その中から11月の本選には57人進んだ。 2. 学校発表会：人吉市及び球磨郡内の小中高校による発表会。45校、約1,500人が一堂に会し、日頃の練習の成果を披露した。 3. 音楽のタベ：①市内音楽団体発表と個人コンクール受賞者による招聘演奏。 ②A L T及び一般参加者による「旅愁」の原曲披露(英語ver.) ③ゲストアーティストによる弦楽演奏及びバレエの披露。													
7 平成21年度に実施した方向性からの改善	①音楽のタベでは、市内のみならず近隣自治体へ広報活動を実施したことにより、観客増につながった。 ②学校発表会では、新型インフルエンザの影響により、欠場校が数校あった。													
8 類似・重複事業の有無	有 ☒ 無 ☐		類似・重複と思われる事業名											
9 外部団体の活用	活用している ☒ 活用できない ☐ 活用できる(検討中も含める) ☐						団体名		市内音楽団体					
	活用できない理由(担当課確認リストを含む)													
10 活動指標	指標名		単位		説明			目標値の設定内容						
	出場者及び観客数		人		音楽祭参加者と観客数			過去3年間の実績最大実績数						
11 成果指標	出場者及び観客数		人		音楽祭参加者と観客数			過去3年間の実績最大実績数						
12 指標値		(1) 活動指標	目標値	H20年度(実績)	H21年度(実績)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度					
			実績値	3,000	3,450	3,000	3,000	3,000	3,000					
			<達成度>	3,250	2,618	—	—	—	—					
		(2) 成果指標	目標値	<108.33%>	<75.88%>	—	—	—	—					
			実績値	3,000	3,450	3,000	3,000	3,000	3,000					
			<達成度>	3,250	2,618	—	—	—	—					
13 事業年次計画	事業内容	事業の期間	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	
		S22 ~	音楽祭	3,516	音楽祭	3,916	音楽祭	4,341	音楽祭	5,341	音楽祭	4,341	音楽祭	4,341
		総事業費												
		千円												
		合計	3,516千円	3,916千円	4,341千円	5,341千円	4,341千円	4,341千円						
		財源内訳	① 国庫補助金		1267									
			② 県補助金											
			③ 起債											
			④ その他											
			⑤ 一般財源	3,516	2,649	4,341	5,341	4,341	4,341					
14 活動一単位当たりのコスト	1.1千円		1.5千円											

平成22年度以降の改善等を踏まえた事業の内容 15	より多くの市民に芸術と触れあう機会をつくるため、周知方法等について検討していきたい。		
平成23年度以降の事業の方向性 16	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☒	次年度は65回記念大会にあたる。「音楽の夕べ」において、ゲストコンサートを含めた内容の充実を図り、市民が高度な芸術・音楽に触れあえる機会をつくるため。
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見	
・ 人吉が誇る先生でいらっしゃるのので絶やすことなく続けてほしい。 ・ 長年、脈々として引き継がれてきた人吉市ならではの音楽の祭典であり、市民が誇りを持って語れるものである。企画・運営には大変なご苦労があると思うが、市民手作りの祭典として更に発展させていくための努力を今後お願いしたい。 ・ 地方の小さな町でこんなに長く続いている音楽祭は珍しいのではないのでしょうか。商業演劇とかコンサートの方々から人吉のお客さんは反応がいいですねと言われます。それはこの音楽祭のように長い間私たちを育んでくれた郷土の地道な教育環境のお陰だといつも誇りに思っています。近年は人吉球磨ばかりではなく県内外の未来の音楽家たちの登竜門にもなりつつあり嬉しいことです。長く続ける事はいろいろご苦労もあると思いますが、素晴らしいこの事業は是非続けていただきたい。	

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	A	
人吉の音楽活動を代表するイベントとして音楽祭の存在意義はほぼ定着していると思われる。今後はより多くの地元市民に関心を持っていただくような活動を目指していく必要がある。						

点検評価シート (評価対象:平成21年度事業)

1 事業名	史跡人吉城跡保存整備事業													
2 担当部課名	教育部文化振興課						担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称					
		1	ふるさとへの誇りと愛情に支えられたまちづくり					3	ふるさと文化の継承と創造					
4 誰のために行うか〔受益者〕	市民及び史跡来訪者													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	史跡来訪者には史跡としての人吉城を体感してもらい、市民にとっては心の拠り所となり、さらに市民が積極的に活用できる史跡づくりを目指す。													
6 事業の実施内容(平成21年度の進捗含む)	昭和36年の国史跡指定以降、国・県の助成を得て保存修理事業を進め、昭和59年の「史跡人吉城跡保存管理計画書」策定以降はそれに従って西外曲輪部での発掘調査及び整備を実施した。渋谷家・間米蔵跡・多門櫓・角櫓・長堀の復元や角櫓前広場・園路の整備等が具体的例であるが、平成15年度からは「史跡等総合整備活用推進事業」としてガイダンス施設の建設、地下室遺構、大井戸遺構、水ノ手門跡、堀合門の復元等を実施し、より積極的な活用を図っている。平成19年度には、整備事業のまとめとして「整備報告書」を作製し、20年度には球磨川沿い防護柵設置工事、また21年度には御館跡と周辺園路の整備、大手門発掘調査、史跡人吉城保存管理計画書の策定事業等、鋭意事業を展開している。													
7 平成21年度に実施した方向性からの改善	人吉城の整備は、21・22年度の2か年で策定の「保存管理計画書」に基づき事業展開していく。20年度の改善点は、保存管理計画書の策定を見据えた、計画的な整備事業の展開であったため、改善内容は継続中である。													
8 類似・重複事業の有無	有・無		類似・重複と思われる事業名											
9 外部団体の活用	活用している・活用できない(活用できる(検討中も含める)) 団体名 平成100人委員会・観光案内人協会 活用できない理由(担当課確認リストを含む)													
10 活動指標	指標名		単位	説明				目標値の設定内容						
	整備進捗率		千円	18年度までの1,121,586千円に加算				総事業費1,500,000千円						
11 成果指標	整備達成率		千円	年度毎の当初予算を100%として				各年度当初予算額(千円)						
12 指標値	(1) 目標値		H20年度(実績)	H21年度(実績)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度						
	活動指標		1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000						
	実績値		1,161,222	1,197,751	—	—	—	—						
	達成度		<77.41%	<79.85%	—	—	—	—						
	(2) 目標値		3,570	36,525	6,152	—	—	—						
	成果指標		9,083	36,529	—	—	—	—						
	実績値		9,083	36,529	—	—	—	—						
	達成度		<254.43%	<100.01%	—	—	—	—						
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～		委託料	3,204	発掘調査	4,436	発掘調査	7,183	発掘調査	7,200	発掘調査	8,000	発掘調査	15,000
	総事業費		整備単独	478	整備工事他	29,466	整備工事他	2,347	整備工事	15,000				
	千円		その他	5,401	保存管理	2,627	保存管理	3,804						
	合計		9,083千円	36,529千円	13,334千円	22,200千円	8,000千円	15,000千円						
	財源内訳	① 国庫補助金	3606	18150	6553	11100	4000	7500						
② 県補助金			1050		1500		1500							
③ 起債														
④ その他		5000												
⑤ 一般財源		477	17,329	6,781	9,600	4,000	6,000							
14 活動一単位当たりのコスト			0.0千円	0.0千円										

平成22年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	「保存管理計画書」を策定し、これからの事業を整理しながら年次ごとの計画を立案し事業を展開していく。		
16 平成23年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☒	平成22年度に策定の「保存管理計画書」をもとに、以降の事業を計画性をもって推進していく。特に中世城(上原城)の整備に向けて、基礎データとなる本格的な発掘調査を実施したい。史跡の本質的価値を多くの人に広め、積極的な活用を図りながら「まちづくりの拠点」となるような史跡整備を目指す。
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見	
- 人吉城が年々目に見えて整備されている状況が大変うれしく感じる。観光面での効果も上がっているのではないと思う。今後も計画的な整備と地元市民へのアピールを継続して行ってほしい。 - 人吉城跡は私たち市民の心の拠り所であり古の相良氏の貴重な文化遺産です。近年次々に整備されて一帯が様変わりしてとても喜ばしいことだと思います。新しい保存管理計画書が策定され新たな展開を見ることになれば益々興味は尽きません。可能な限り市民にも整備内容をお知らせいただき説明会等を開いていただければ嬉しいことです。 - 私たち市民が知らないことがたくさんあるので、調査はしっかりしていただいて、解ったことは復元したり、展示して教えて欲しい。	

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	
国の補助事業を活用して、史跡の整備事業を着実に進めており、史跡としての価値の向上はもちろんのこと、市民の憩いの場として、また、重要な観光資源としての評価が高まってきた。保存管理計画書Ⅱの作成に伴い、将来的な史跡整備ビジョンを提示し、市民の注目度と期待度を高め、今後一層の整備事業の促進を目指していく。						

点検評価シート (評価対象:平成21年度事業)

1 事業名	カルチャーパレス自主文化事業													
2 担当部課名	教育部施設管理課						担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称					
		1	ふるさとへの誇りと愛情に支えられたまちづくり					3	ふるさと文化の継承と創造					
4 誰のために行うか〔受益者〕	一般市民(玄海竜二特別公演は主に高齢者)													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	①のど自慢…一般の方は、ホールで歌う経験はなかなかできないものである。ホールで歌い、また録音をして差し上げることにより、歌う楽しさを一層感じてもらう ②玄海竜二特別公演…日本の伝統文化である大衆演劇は笑いと涙、ユーモアに溢れている。熊本を拠点に活動する玄海竜二さんの公演により、見る人に、ふるさとを愛すること、生きる勇気を与える。													
6 事業の実施内容(平成21年度の進捗含む)	①のど自慢…開催日 平成21年10月25日(日) 出場料 2,000円、観覧無料 出場22名、入場者320名 ②玄海竜二特別公演…開催日 平成22年1月23日(土) 料金 一般1,500円(当日2,000円) 65歳以上1,300円(当日1,800円) 小・中学生500円(当日500円) 入場者 1,533名(昼、夜2回公演)													
7 平成21年度に実施した方向性からの改善	早い段階から計画をし、玄海竜二特別公演に関しては、営業活動を積極的に行った。													
8 類似・重複事業の有無	有	☒ 無 類似・重複と思われる事業名												
9 外部団体の活用	活用している ☒ 活用できない ☐ 活用できる(検討中も含める) ☐ 団体名 活用できない理由(担当課確認リストを含む)													
10 活動指標	指標名		単位		説明		目標値の設定内容							
	公演実施数		回											
11 成果指標	入場者満足度		%		入場者アンケート									
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H20年度(実績)	H21年度(実績)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度						
		実績値	1	2	4	3	3	3						
		<達成度>	<100.00%>	<100.00%>	—	—	—	—						
	(2) 成果指標	目標値	75	80	80	80	80	80						
		実績値	90	88	—	—	—	—						
		<達成度>	<120.00%>	<110.00%>	—	—	—	—						
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～		ミュージカル公演	3,299	のど自慢大会	64	忍たま乱太郎	2,530	のど自慢大会	100	のど自慢大会	100	のど自慢大会	100
	総事業費				大衆演劇	1,419	のど自慢大会	100	管弦楽団	300	ミュージカル公演	3,400	大衆演劇	1,500
	千円				落語	100	映画	1,800	福祉コンサート	150	講演会	1,000		
	合計		3,299千円	1,483千円	2,730千円	2,200千円	3,650千円	2,600千円						
	財源内訳	① 国庫補助金												
		② 県補助金												
		③ 起債												
		④ その他	2518											
		⑤ 一般財源	781	1,483	2,730	2,200	3,650	2,600						
14 活動一単位当たりのコスト	3,299.0千円		741.5千円											

平成22年度以降の改善等を踏まえた事業の内容 15	(財)地域創造などの助成事業を活用し、経費を抑える。より幅広い層への周知を図るための広報のあり方、及びチケット販売の方法を検討する。		
平成23年度以降の事業の方向性 16	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☒	人吉球磨の中心的文化施設として、自主文化事業を最低でも年間3本は実施する。アンケートの結果からも文化的要求は強く現れており、幅広い分野から地域住民のニーズを汲み取った事業を展開していく。
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見	
・ 地方にいと優れた舞台等に接する機会は少ないためこの事業は有意義なものである。また、年度毎に事業内容を検討し、様々なジャンルを取り入れることは良いことだと思う。企画する際に市民がどのようなものを希望しているかという意見聴取を何らかの形で実施すれば、市民のニーズにより近いものを企画することが出来るのではないだろうか。 ・ エンタテイメントが溢れ好みも多様化しているこの時節に選定されるのは大変なご苦労があると思う。昨年から始められたのど自慢はなかなかの思い付きだと思います。伝統芸能から現代ものまで色々ある中での選考は難しいでしょうが市民の希望調査みたいにして広報ひとよしにハガキを刷り込んでアンケート形式で試みれば傾向は見えるのではないのでしょうか。文化庁の補助事業等の利用もしていただき、地元団体等も取り入れ、余剰金は積み立ててプールして使えるような特別会計に出来ればと考える。 ・ 成果指標は入場者のアンケートとなっており興味を持った方々が来られるので、アンケート結果は良いに決まってると思う。活動一単位のコスト等も事業を増やしたりしているので解りにくく評価しにくい。ただ文化施設なので積極的な活用と利用者が増える企画をお願いします。	

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	
地方においてなかなか触れることができない芸術・文化の催事を行うことは、市における芸術・文化の振興を図るうえで非常に重要である。今後も国の補助金等を受けつつ、アンケートなどをとり市民のニーズに合った事業展開を目指す必要がある。						

点検評価シート (評価対象:平成21年度事業)

1 事業名	図書館管理システム事業									
2 担当部課名	教育部施設管理課					担当者名		—		
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称		
		4	ふるさとを支える豊かな人づくりをめざして				11	豊かで、活力ある地域社会を支える生涯学習の推進		
4 誰のために行うか〔受益者〕	図書館利用者									
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	多様なニーズに対応できるよう、様々な資料や利用環境を整えることにより、市民が利用しやすい図書館にする。									
6 事業の実施内容 (平成21年度の進捗含む)	図書館管理システムによる資料の受入れ、貸出し、返却及び利用者の管理。									
7 平成21年度に実施した方向性からの改善	インターネットを利用した図書館外からの蔵書検索が可能となり、利用者の利便性が向上した。									
8 類似・重複事業の有無	有	無	類似・重複と思われる事業名							
9 外部団体の活用	活用している <u>活用できない</u> 活用できる(検討中も含める) 団体名									
	活用できない理由 (担当課確認リストを含む)					同様な業務を行う機能を持つ、受け皿となる団体(組織)が存在しない。				
10 活動指標	指標名		単位	説明		目標値の設定内容				
	資料貸出し点数		点	資料の館外貸出し点数		過去3年度間の平均値				
11 成果指標	1日資料貸出し点数		点	貸出し点数÷開館日数		過去3年度間の平均値				
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H20年度(実績)	H21年度(実績)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度		
		実績値	121,022	121,022	121,022	121,022	121,022	121,022		
		<達成度>	120,069	106,151	—	—	—	—		
	(2) 成果指標	目標値	430	430	—	—	—	—		
		実績値	390	353	—	—	—	—		
	<達成度>	<99.21%>	<87.71%>	—	—	—	—			
13 事業年次計画 財源内訳	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～		使用料	148	使用料	1,387	使用料	2,628	使用料	2,628
	総事業費									
	千円									
	合 計		148千円	1,387千円	2,628千円	2,628千円	2,628千円	2,628千円		
	① 国庫補助金									
		② 県補助金								
		③ 起 債								
		④ その他								
		⑤ 一般財源	148	1,387	2,628	2,628	2,628	2,628		
14 活動一単位当たりのコスト	0.0千円		0.0千円							

15 平成22年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	平成21年度は新システムに移行する作業等のため1ヶ月間(9月度)貸出業務を休止したため、指標の達成度を落としているが、今後もインターネットによる蔵書検索を含む新図書館サービスの活用を図る。		
16 平成23年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	さらに、新図書システムを活用した利用者サービスを推進するため、現在まだ使用していない機能を活用し、貸出予約などの業務の利用を検討する。ただし、利用者の利用機会の公平性に情報格差(デジタルデバイド)を生じさせないように、実施方法などについては、慎重に研究し、検討してゆく。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見	
・新システム導入により出来るようになった事、便利になった事等をもう少しアピールして欲しい。何度も繰り返す事で市民への周知を図ることができると思う。また学校等の施設へ直接アピールする事も効果があるのではないかと考える。 ・管理システムは素晴らしいものになったので、貸し出し数の増加する企画、場所を考えて欲しい。 ・新システムの導入意により図書等の管理部分の作業が正確かつ効率的になったことは良いことだと思う。システム使用料が2倍となり、定員1減、嘱託1となった時点で図書館運営管理の見直しを行う事で何かが変わるのではないかと考える。	

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	3	A	
新システム導入により図書館管理部門の作業が効率良くなった。今後はまだ使用していないシステム機能を活用し更なる事務改善と利用者サービスの向上を目指す必要がある。						

＜人吉市教育基本方針＞

本市は、市民一人一人が、未来に向かって生き生きとした感覚をめぐみ、郷土への誇りや愛着をもてる「物語都市ひとよし」の創造を目指している。そのため、本市教育は、社会の進展に対応する教育を構築しながら、主体的・創造的に生きていくために、恵まれた自然や文化・歴史のもとで、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を目指す。さらに、市民が生きがいのある生活を送るために、人権尊重を基盤に子育て支援にわたって、健康な生活を営むことができる生涯学習社会の実現を目指す。

＜人吉市教育目標＞

- 学校、家庭、地域の連携・協力を強化し、あらゆる教育活動を通して、児童・生徒に確かな学力を身に付けさせるとともに、子どもたちの豊かな心を育て、人生や社会を乗り切っていく「生きる力」を育成する。
- 芸術、文化、スポーツ等多様な教育施設の充実を図り、地域やふるさとを支える人づくりに努める。
- 差別の根絶を目指す教育・啓蒙を推進し、関係機関・団体相互の連携を推進する。

＜学校教育努力目標＞

- 1 「確かな学力」の育成
 - 基礎・基本の重視と活用能力向上のための授業づくり
 - 多様な指導体制と学習活動を重視した指導方法の工夫
 - 指導と評価の一体化
- 2 豊かな心の育成
 - 人権教育の推進と道徳教育の充実
 - 感動する心と豊かな感性の醸成
- 3 たくましい身体力の育成
 - 体力向上の推進（体力づくりアクションプラン作成）
- 4 健康・安全教育の充実
 - 防災・安全教育の充実
 - 緊急時に備えた防災・安全教育の推進
- 5 読書活動の推進
 - 効果的な読書活動の推進と学校図書館の計画的な活用
 - 「子ども読書活動推進計画」の実現
- 6 学校・家庭・地域社会の連携とその推進
 - 幼・保・小・中・高のなめらかな接続
 - 地域ボランティアの学校支援の推進
- 7 食育の推進
 - 特色ある学校教育の展開と学校給食の充実
 - こども・王国食育の推進
- 8 安全・安心な教育環境の整備
 - 学校施設の耐震化調査・工事の安全な実施
 - 学校環境美化の推進

＜社会教育努力目標＞

- 1 校区公民館活動の支援と連携
 - 公民館（コミュニティセンター）事業の充実
 - 公民館運営能力向上のための研修会の充実
- 2 学習機会の提供と推進
 - 成人を対象とした講座の充実
 - 子どもを対象とした講座の充実
 - 高齢者・若年層・若年層の活用推進
- 3 学習情報の収集と提供
 - 公民館や学校、他の社会教育施設、機関・団体との連携
 - かがやきびと（生涯学習人材バンク）の活用推進
- 4 家庭・地域の教育力の向上
 - 家庭・地域の教育力の向上
 - 校区公民館を核とした地域ぐるみの子どもの健全育成
 - 家庭教育に関する情報提供及び学習機会の提供と充実
 - 地域ぐるみで学校運営を支援する体制の整備
- 5 社会教育施設の整備
 - 公民館（コミュニティセンター）施設の整備・充実
 - その他の社会教育施設の整備充実と利用促進
- 6 社会教育関係団体への支援及び連携の強化
- 7 社会人権教育の推進
 - 家庭や地域における人権教育の推進
 - 研究会や研究活動の充実
- 8 図書館事業の充実
 - 子ども読書活動の推進
 - 来館者ニーズに対するサービス向上
 - 郷土に関する資料の収集
 - 移動図書館による図書利用の拡大
 - インターネットによる図書検索システムの導入

＜文化振興努力目標＞

- 1 「ふるさと文化」の継承
 - 史跡・史蹟の保存・整備・活用
 - 人吉城跡の保存・整備・活用
 - 国史「青井藩陣中」の保存・活用
 - 文化財の調査・保護・活用
 - 人吉の文化・人吉の歴史
 - 「ふるさと文化」の創出
 - 大豊村歴史資料館の運営・充実
 - 人吉城跡歴史資料館の運営・充実
 - 文化団体の育成・支援
 - 文化振興事業の充実
 - カルチャー・パレス
- 2 「ふるさと文化」の創出
 - 大豊村歴史資料館の運営・充実
 - 人吉城跡歴史資料館の運営・充実
 - 文化団体の育成・支援
 - 文化振興事業の充実
- 3 カルチャー・パレス
 - 快適で安全な利用のための施設環境の維持保全
 - 来館者へのきめ細やかなサービスの提供
 - ホームページ等による情報提供
 - 自主文化事業を通じた文化芸術の振興

＜スポーツ振興努力目標＞

- 1 生涯スポーツの普及及び振興
 - 総合型地域スポーツクラブの育成
 - レクリエーションスポーツの普及及び振興
 - 自然と親しむスポーツの普及及び振興
- 2 競技スポーツの育成と指導者の養成
 - 競技スポーツ団体の育成と指導者の養成
 - スポーツ少年団の育成と指導者の養成
 - スポーツ施設の効果的・効率的な活用
- 3 スポーツ施設の効果的・効率的な活用
 - 指定管理者との協働による効果的、効果的な管理運営
 - 市民の健康増進を図るための各種スポーツ教室の開催

地域ぐるみで子ども・学校支援事業

幼児小中連携プログラム事業

ふるさと感の醸成事業

安全・安心サポート事業